

## インドネシアでゴルフプレーを

全世界でワクチン接種が進んでいる中、経済回復に向けて入国規制が緩和される傾向になりつつあります。海外旅行が再開されるのも遠い話ではないかもしれません。今回は、その期待を込めて、インドネシアのゴルフコースをご紹介させて頂きたく思います。インドネシアのゴルフ場は、ジャカルタ、ボゴール、バンドン、バリなどに点在しています。忙しい出張の合間であれば、首都ジャカルタとその周辺にある世界的なレベルのゴルフコースデザイナーが設計したコースを利用してみるのもいいでしょう。また、観光で訪れる機会があれば、バリ島の美しい自然と共にも素晴らしいゴルフ場を満喫するのもいいかもしれません。この機会に、私が実施にプレーをして面白かったと思うお気に入りのコースを紹介したいと思います。

### 1. バリ・ナショナル・ゴルフ・クラブ

私が最も好きなコースは、バリ島のヌサドゥア観光施設内にあるバリ・ナショナル・ゴルフ・クラブです。このゴルフクラブは、バリ国際空港から車で20～30分のところにあり、アクセスがよいです。また、3つの異なるプレー環境を持つ18ホールのコースがあり、ユニークなゴルフ体験が可能です。ゴルフクラブ以外にも、凡そ5キロに及ぶ白砂のビーチ沿いの総合観光施設には、星付きホテル、コンベンションセンター、ショッピングセンター、レストラン、博物館などといった様々な施設があります。そのため、このゴルフクラブは、カジュアルゴルファーにとってもプロゴルファーにとっても、リラックスし

たゴルフホリデーを過ごすのに最適な場所となっています。肝心のゴルフコースは、長いバンカーが大きな特徴です。この豪華なコースは、プレーヤーに最高のサービスを提供しており、私はそれらがとても気に入っています。インドネシアの典型的な暑さにもかかわらず、私自身このコースでのプレーを楽しみました。



### 2. セントゥール・ハイランド・ゴルフ・クラブ

その次にお気に入りのコースは、南ジャカルタにある私のオフィスから車で約1時間のボゴールのセントゥールにあります。メンテナンスの行き届いたフェアウェイやグリーンだけでなく、サービスのレベルも非常に高く、すばらしさを感じます。山岳地帯の近くに位置することから、コースからは周囲の美しい山の景色を眺めることができます。また、このコースは初心者に優しいだけでなく、経験豊富なゴルファーにもいくつかの試

練を提供してくれるので、誰にとってもこの美しいコースでプレーすることは素敵な経験になるでしょう。



### 3. ポルタックーレンバン、バンドン

ポルタク・ゴルフコースは、インドネシア空軍が所有・運営していることでユニークといえるでしょう。ジャック・ニクラウスやゲーリー・プレーヤーのようなコース設計ではないかもしれませんが、高地に位置していることもあり、爽快なプレーが楽しめます。午前中にティーオフすれば、ジャカルタやバリでは珍しい涼しい気候（約15～17℃）を楽しむことができます。最もユニークなホールは6番ホールで、パー4のホールですが、フェアウェイの傾斜が45度上向きになっています。このコースには9ホールしかないことを忘れないでください。レンバンはジャカルタから車で3時間かかるので、プレーする前にまずバンドンに泊まることをお勧めします。バンドンからレンバンまでは45分くらいかかるかもしれません。

### 4. セダユ・インド・ゴルフ・ジャカルタ

アグン・セダユ・ゴルフ・ジャカルタは、北ジャカルタにある最も新しい国際的なレベルのゴルフコースです。写真のように特別に深いバンカーと共に狭いフェアウェイのため、今ジャカルタで最も興味深く、興奮させるようなゴルフコースです。普通のゴルフ愛

好者である私は、このバンカーから抜け出すのに3回も失敗してしまいました。とはいえ、とてもいい経験になりました。このコースはジャワ海に隣接しており、自然の障害要素にもなります。海の近くにあるため、常に強い風が吹くことが予想されますので、初めてこのコースでプレーする際には、たくさんのボールを持っていくことをお勧めします。



パンデミックが緩和され、海外旅行が再開されたとき、これらのコースをご案内できれば幸いです。インドネシアに来られる際にはぜひ一緒にプレーをしませんか。

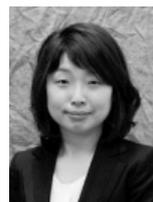
#### 著者紹介



**Mr. Emirsyah Dinar**  
(エミルシャ・ディナル)

GIP ASEANインドネシアオフィス(AFFA)コンサルタント。1991年ジャカルタ生まれ。ニュージーランドのヴィクトリア大学卒業後、インドネシアのガジャ・マダ大学院卒業。2014年より知的財産分野のキャリアをスタート。商標と特許担当。2016年コンサルタント試験合格。2016年よりUnited GIPsグループに参加。趣味は、語学学習、旅行、ラグビー及びゴルフ

#### 編集者紹介



**魯 佳瑛 (ノ・カヨン)**

日本弁理士、新樹グローバル・アイビー特許業務法人所属。1981年韓国ソウル生まれ。ソウルの成均館大学卒業。2006年よりソウルの特許事務所での知的財産分野のキャリアをスタート。結婚をきっかけに来日。2014年日本弁理士試験合格。専門は、商標・意匠。